

標 題	宍道湖西岸地区大区画ほ場整備により「小豆」の産地化を目指す！その3 ～出雲で小豆の現地検討会を開催、生育は概ね順調！～
-----	--

(ダイジェスト)

8月24日、京都の大規模小豆生産者らの協力を得ながら、出雲市内の小豆ほ場3か所で現地検討会を開催し、生育状況の確認と今後の栽培のポイント等について検討しました。
初めて小豆を栽培する農家にとって、京都の専門家に自分らのほ場を直接見て指導してもらえ、とても良い刺激になりました。

小豆の安定栽培技術の早期確立を目指すために開催した現地検討会に、京都府亀岡市の農事組合法人河原林の加藤代表理事と京都府の普及職員に参加していただきました。

そして、「どのほ場も出芽率は良好で、カヤツリグサ等の雑草が生えているものの小豆の生育に問題はなく、全般的に生育は概ね順調である。今後は、①葉色の薄いところには追肥する。②除草対策としてラウンドアップの溝畦処理が有効である。③病虫害防除を怠らない。」などのアドバイスを受けました。

また、「前日に出雲市で開催された『小豆の生産振興と出雲ブランド化の集い』のような生産者の交流の機会を全国規模の『小豆サミット』（仮称）として、毎年どこかの小豆の産地で開催し、栽培技術の向上や実需者と消費者へのPR等ができればいいですね！」といった話が盛り上がり、今後の小豆生産に向け、心強い相談相手を得ることができました。

なお、本年産の栽培概要、生育状況及び指導内容は、以下のとおりです。

- 1 (農) ヨコハマの小豆ほ場 (水田転作、10a)
 - ・栽培概要：7/18 耕うん・同時播種 (狭条密植栽培)、品種：岩手大納言、丹波大納言
7/18 初期除草剤散布、8/4 中期除草剤散布 (カヤツリグサに効果なし)
 - ・生育状況：出芽良好。カヤツリグサが繁茂。全体的に葉の色が薄い。岩手大納言は開花始め
 - ・指導内容：今年の湿田ではカヤツリグサの発生が多いが、収穫までには枯れるので気にしない。
カヤツリグサの繁茂で、葉色が薄くなった所には追肥する。
- 2 (農) 下出来洲の小豆ほ場 (畑地、10a)
 - ・栽培概要・生育状況・指導内容：(農) ヨコハマと概ね同じ
- 3 (農) グリーンサポート斐川の小豆ほ場 (水田転作、20a)
 - ・栽培概要：7/20 耕うん同時播種 (狭条密植栽培)、品種：京都大納言、丹波大納言等
7/20 初期除草剤散布
 - ・生育状況：出芽良好。カヤツリグサが繁茂。葉の色は概ね良好。
 - ・指導内容等：畦溝にラウンドアップを散布する。

